

平成30年度

実習船「海邦丸五世」第二種中間検査及び一般修繕

仕 様 書

【注意事項】

- (1) 仕様書は、船体部4枚、機関部2枚、燃料・宿泊費1枚の合計7枚である。
- (2) 検査においてはSS制度を適用せず、全項目JG検査を受検できるものとする。
- (3) 使用材料、艀装品等はそれぞれの用途に適合した優良品であり、諸法規に合格したものとする。
- (4) 特記のないものについては全て新品とし、日本工業規格等の規格にあうものとする。
- (5) 乗組員や実習生の人数に変動がある場合、入札日の一週間前までに連絡を行う。

【応札明細書について】

- (1) 応札明細書は、仕様書の内容を確実に履行してもらうために各項目の内容を満たしていることを確認するものである。

また、予定価格の参考資料とするため、仕様書に基づき作成し、下記の期限までに提出すること。

提出期限：平成30年8月24日(金) 午後4時

(直接持参または簡易書留による郵送も可)

- (2) 仕様書について不明な点がある場合は、下記の問い合わせ期間内にFAXにて行うこと。
回答は随時FAXにて行う。また、質問の内容により必要と判断した場合には、入札を希望する者すべてにFAXにて知らせる。

問い合わせ期間：平成30年7月24日(火)～平成30年8月17日(金)

(午前9時～午後4時まで、土日・祝祭日を除く)

- (3) 提出された応札明細書に不備・不明な点がある場合、提出期限に間に合わない場合は入札参加資格を失うので注意すること。

明 細 書 (船 体 部)

No.1

番号	項目	数量	単価	金額	備考
1	第二種中間検査(B)受検一式(受検手数料等含む)	1式			JG受験項目従則
	※各項目、ドック打合わせ後、現場にて説明。				
	※修理に付随する取替え部品及び消耗品等は造船所支給。				
	※各計器類・機器とも試運転前日までに完全なる状態であること。				
	※SS制度は適用せずJGを適用とする。				
	① 船体内・外部関係整備点検・受検一般				
	② 排水設備関係整備点検・受検一般				
	③ 電気設備関係整備点検・受検一般				
	④ 一般設備関係整備点検・受検一般				
	⑤ 救命設備関係整備点検・受検一般				
	救命筏、救命胴衣、救助艇				
	⑥ 消防設備関係整備点検・受検一般				
	泡消火器用充填剤8個納入				
	⑦ 航海用具関係整備点検・受検一般				
	⑧ 満載喫水線、区画規定関係整備点検・受検一般				
	⑨ その他の設備整備点検・受検一般				
2	一般修繕工事	1式			
	① 船体入出渠(499トン、56.97m・9.4m・3.95m)				
	② 船底外板、船側外板、水洗い付着物除去後、発錆部の錆落し、 サンダー掛け、錆止め塗装2回後、同色塗装。	注) 船底塗装に関しては 1年対応塗装とすること。			
	※ カナエ塗料使用(各塗料に必要とするシンナーも含む)				
	・外舷部(241㎡)				
	A/C(T/U) エコパワー#300 D グレー 塗装1回				
	上塗り(A/O) エコパワーアクリル 塗装1回				
	・船底部・サイド(449㎡)				
	A/C(T/U) エコパワー#300 D グレー 塗装1回				
	A/F(A/O) カナエポートA/Fクリーン#3000MS改レッドN 塗装2回				
	・船底部・フラット(366㎡)				
	A/C(T/U) エコパワー#300 D グレー 塗装1回				
	A/F(A/O) カナエポートA/Fクリーン#5000MS改レッドN 塗装2回				

明 細 書 (船 体 部)

No.2

番号	項目	数量	単価	金額	備考
③	船側帯カラー塗装(5色) ※カナエ塗料使用				
④	各名称、マーク、番号等の塗料 ※カナエ塗料使用				
⑤	錨鎖検査終了後、錆落としソリューウション塗装 及び両舷錨、錨鎖塗装。 両舷各節マーク新替し白色塗装。各節、中間マーク(黄色)塗装後、 錨鎖庫内部清掃後、専用塗料塗装。(底板取り出し清掃)両舷錨、錨鎖収納。 錨鎖収納時、制鎖器調整。				
⑥	船首ウインドラス、プレーキドラムの錆打ち後、錆止め塗装処理、 ライニング2ヶ所新替え。船尾ロープウインチはライニングのみ新替え。 その後、同色塗装。				
⑦	キングストンボックス、シーチェスト開放、内部サンダー掛け後、 錆止め塗装2回。 船底塗料塗装後、復旧。				
⑧	No1,No2ビルジタンク開放、清掃、錆打ち、錆腐食激しい部分はダブリング等 溶接とする。後、錆止め塗装。 専用塗料にて全面塗装。 No1・・・5.29㎡ No2・・・6.73㎡				
⑨	船体保護亜鉛板新替。 300mm × 150mm × 30mm ... 46枚 300mm × 150mm × 20mm ... 4枚 200mm × 100mm × 30mm ... 8枚				
⑩	船体洗い後、煙突、各マスト塗膜剥離発錆部落とし後、錆止め塗装2回後、 全面塗装。 ※カナエ塗料使用				
⑪	内舷及び暴露甲板構造物全般全面塗装。 ※カナエ塗料使用。 (内舷パイプ類、船首コンパニオン周り、船楼甲板、ハウス周り、 昇降階段、船橋周り、天井及びそれに付随するパイプ類、全ベンチレーター 全通風筒、救助艇ダビット、船首甲板、ウインドラス、船尾ロープウインチ、 投光器、蛍光灯、手すり)、※コンパニオン上部は(緑色)				
⑫	汚水処理装置(汚物タンク)開放清掃、点検、腐食部あれば修理・補修を行う。 点検整備証明書発行。※ポンプ類は取外し陸揚げし整備、復旧。 メーカー : 大晃工業株式会社 型式 : SDT-40 (2台)				

明 細 書 （ 船 体 部 ）

No.3

番号	項目	数量	単価	金額	備考
⑬	清水タンク(50m ³)・雑用水(32m ³)、				
	船底プラグ開放後、タンク内清掃。				
	内部発錆部スクレープしクリーンキープ、タッチアップ2回塗装。				
	(完全乾燥) ※2回水抜き復旧。(水質検査証明書発行・日本語・英語)				
	船底プラグ取付け後、C/Oに確認。その後セメント施行。				
⑭	船橋内、下記航海計器類、点検整備。(交換部品等あれば交換)				
	オートパイロット、GPS、ジャイロコンパス、ECDIS、船舶自動識別装置(AIS)				
	磁気コンパス自差修正後、証明書発行。				
	舵角指示器と舵の調整。左に1.5°～2°のズレがある。				
					高
	全配管関係⑮、⑯、⑰、⑱、高圧洗浄としその後、カメラにて内部確認				
	⑮、⑯、⑰、配管の取り外す仕切弁、波止弁は取外し陸揚げ整備、確認後復旧とする。				
⑮	賄い室、学生食堂、士官サロン、部員サロン、流し台パイプ。				
	賄室配管・・・①50+70+630=750cm ②100+620+80+150+50=1000cm				
	学生食堂配管・・・200cm				
	士官サロン配管・・・650cm				
	部員サロン配管・・・650cm				
	機関室A-65の船外弁へ繋ぐ				
⑯	士官、部員、女子共通代サニタリーライン。				洗
	5k-125A 200+150+700+400+300+200=1950cm(19.5M)				
	汚物タンクへ通づる、仕切弁1個取外し。				
⑰	部員トイレ用、小便配管清掃復旧。5k-50A 700cm				
	※ 小便器側よりパイプ清掃(石灰落とし)も含む。				
⑱	学生トイレ、大小用配管清掃復旧。5k-50A 40+60+40=140cm(1.4M)				
	5k-125A 50+140+120+90+40+60=500cm(5.0M) 仕切弁2個取外し。				
	※ 小便器側よりパイプ清掃(石灰落とし)も含む。				
⑲	機関室内、賄い配管取り外し陸揚げ整備清掃、確認後取付け復旧。				浄
	(注)機関室後部の燃料タンク上部から賄迄の内部配管重点、清掃。				
	①50+70+630=750cm ②100+600+80+80+150+50=1100cm				
	①+②=1850cm(18.5M) 波止弁2ヶ所取外し。				
	※取り外した各仕切弁、波止弁は復旧後、				
	水漏れ及び他のタンクへの入水が無いかを確認。				

明細書（船体部）

No.4

[illegible]

明 細 書 (機 関 部)

No.1

番号	項目	数量	単価	金額	備考
※	各機器復旧後試運転及び係留運転				
※	修理に付随する取替部品及び消耗品は造船所支給				
※	油類及び明記部品は本船支給				
※	SS制度を適用せずJG検査を適用すること				
※	各機器とも試運転前日までには完全なる運転状態にあること				
1	主機関 (新潟鐵工所 6M31BFT)				
	① シリンダーカバー取外し陸揚げ分解掃除水路部薬品洗浄、燃焼面カラー チェック、弁本体取付けシート部摺合せ、始動弁分解掃除摺合せ、吸、排気弁 分解掃除、弁ガイド、弁シート、弁棒(以上本船支給で新替・各6本) バルブローテータ及びコッターは工場側手配で新替え 使用中NO.5, 6シリンダー吸排気弁分解掃除摺合せ、各2本				
	② 燃料弁抜出し陸揚げ、チップ当たり面摺り合わせチップ、ノックピン新替え 復旧後圧力テスト				
	③ ピストン燃焼面掃除カラーチェック、				
	④ 燃料脈圧緩衝ゴム新替え(大栄電熱工業株式会社)				
	⑤ クランクデフレクション分解前後計測記録表提出(冷態時計測)				
	⑥ 燃料供給ポンプ(浪速ポンプ製作所 TLG-2)、取外し陸揚げ開放掃除、 軸継ぎ手スリーブ、インナーローター及びアウトローター、オイルシール新替え				
	⑦ LOサンプタンク2KL抜き取り本船支給で補給				
2	軸径及びプロペラ (かもめ CPR-80AVCN)				
	① 主プロペラ及びバウスラスタ羽根掃除ペラクリーン塗布				
	② ロープガード取り外し掃除垂鉛新替え、ガード取り付けボルト金具溶接止め 施行(垂鉛は本船支給)				
	③ プロペラボス部グリス差し替え(エピノックグリス 2缶)				
3	発電機関 (新潟鐵工所 6NSD-G 2台)				
	① シリンダーカバー取外し陸揚げ掃除、燃焼面カラーチェック水路部薬品洗浄 吸排気弁摺り合せピストンヘッド掃除カラーチェック、ガスケットパッキン新替え				
	② 燃料弁抜き出し掃除チップ、ガスケットパッキン新替え圧力テスト				
	③ クランク室及びチャンバーLO抜き取り掃除、LO新替え(LO本船支給)				
	④ クランクデフレクション計測分解前後(冷態時)記録表提出				
	⑤ 燃料ポンプ及びガバナ陸揚げ分解掃除整備、軸受け、オイルシール Oリング、プランジャーバーレル、吐出弁及びバネ、パッキン、レフレクター フィールドポンプ新替え、油量圧力調整テスト2台(由量圧力調整は 予備2台含む)				

明細書（機関部）

No.2

[illegible]

明細書（燃料費・宿泊費）

No.1

[illegible]